

「10年目を迎えた餅つき大会」

年の瀬をむかえた12月20日、本校恒例の餅つき大会が盛大に行われました。この催しは、かつては正月を前にしたこの時期、多くの家庭や地域で行われていた餅つきを生徒たちに体験してもらおうと学校と保護者たちが企画しました。今年で10年目をむかえ本校の伝統行事となり、2学期の期末テストが終わると生徒の多くが餅つき大会を楽しみにしています。

本校の体育館には前日から木や石の臼が8つ並べられ、3年生とけやき学級から順に学年ごとに餅つきをしました。体育館の外に用意された釜で115キロの餅米が蒸され、生徒たちが蒸しあがった餅米を「よいしょ」などと声を掛け合いながら元氣よくついたあと、保護者たちが一口大の団子にして、きな粉やあんこ、大根おろしなどをつけました。また、学校ファームでけやき学級の生徒が育てた大根や里芋、白菜のほか、地域の人たちから提供されたにんじんやごぼうなどを使った豚汁も作られ、生徒たちは、餅と一緒においしそうに味わいました。前日に給食が終了しているのに、昼食代わりにお腹がいっぱいになるまで、何度もおかわりをして



2人一組で餅つきを全校生徒が体験

いる生徒もいました。1年生にとつては、初めての体験で「杵を振り上げるのがむずかしかった。」「2人でタイミングを合わせるのに苦労した。」などと話していました。また、忽滑谷PTA会長も「子どもたちが喜ぶ姿が随所に見られ、餅つき大会を実施した甲斐がありました。」と感想を話していました。

当日のNHKの3時のニュースにも取りあげられ、放映を職員室のテレビで職員と保護者が一緒に観て見入りました。

今、職員玄関には餅つき大会でついた餅が鏡餅になって飾ってあります。1月には鏡開きを行い、PTAの運営委員会で、かき餅にして協力してくれた保護者の人たちに配る予定です。

第23回～新河岸川に向かう河岸道③～鷲河岸・山下河岸・前河岸への道

県道三芳富士見線も河岸道と呼ばれますが、三芳中交差点から上富下組までの間は、三芳村に四校あった小学校が三芳尋常高等小学校（現三芳小）に統合された大正四年、上富地区から本校に通う児童の利便性を図るために開通し、大正六年に公道として認可された新道部分は除かれます。三芳中前から始まる河岸道は、東上線の踏切を越えた鶴瀬交差点までは県道三芳富士見線と重なります。河岸道は鶴瀬交差点を直進し、富士見台中前で北永井からの河岸道と合流し、本河岸へと続きます。

県道三芳富士見線の南側、町道幹線二〇号線も河岸道と呼ばれます。江戸時代より町を東西に貫く主要道となっていたように、この道と上富けやき並木通りとの交差点と川越街道との交差点にある旧家では、かつて運送業を営んでいたと伝えられます。この道は所沢市中富境から東に向かい関越を越え、北永井中央通りを横切り浄水場前に至ります。藤久保境で鍵の手となり林と工場間の道を抜け、川越街道を越え藤久保



写真 県道三芳富士見線と重なる河岸道

壁から富士見市関沢へと進みます。東上線を越えてみずほ小学校の北側を通り、地藏院前から本郷中と幼稚園の間を抜けて鶴河岸へ至ります。

中富と上富の南端からみずほ台駅方向に走る町道幹線二一号线も、河岸道と呼ばれます。みずほ台駅の開設により富士見市域に入ると道は消滅してしまいましたが、かつてはみずほ台駅を横切るように並木の交差点（六道）に通じ、六道を北東方面に進むと鶴河岸、直進すると山下河岸・前河岸へと至る道でした。

現在も町の東西を結ぶ主要道として生きている河岸道は、舗装・拡幅や周囲の開発により往時を偲ぶことが年々難しくなっています。ゆつくり道を辿ってみると、微妙なカーブや起伏に古道の面影が残されています。

歴史民俗資料館

問い合わせ 歴史民俗資料館 ☎ 258-6655 <http://www.jade.dti.ne.jp/miyoshir/>

イベント名	日時	費用	申込締切	会場	内容
★土曜体験★ 石うすど火鉢でおもちを食べよう	2月2日(土) 10:00~12:00	300円	2月1日(金)	歴史民俗資料館	石うすできなこをひいて、火鉢でおもちを焼いてみよう。うまくなるかな？ 定員：20人
サツマイモ大学 後期講座② 講義	2月10日(日) 14:00~15:30	—	2月1日(金)	農業センター	講義：世界のサツマイモ事情 講師：山川理氏(元独立法人九州沖縄農業研究センター所長)
サツマイモ大学 後期講座③ 体験と閉校式	3月23日(土) 9:30~11:30	100円	3月15日(金)	旧島田家住宅農業センター	午前 体験：サツマイモの伏せ込み 終了後 閉校式

※持ち物・集合場所等の詳細は、申し込み時にお伝えします。

コピスみよし

問い合わせ コピスみよし ☎ 259-3211 <http://www.miyoshi-culture.jp/>

心安らぐ自然のささやき 「コカリナ」コンサート



「コカリナ」とは、木のできたオカリナで、木が本来持つあたたかみを感じられる楽器です。音による森林浴をお楽しみください。

公演日時	2月2日(土)開演 14:00
入場料	無料

林家ひろ木の 「らくご寺子屋」



落語マニアもそうでない人も、落語のいろはがわかる「らくご寺子屋」がスタート。木久扇の弟子にして人気急上昇中の林家ひろ木が落語の魅力に迫ります。

公演日時	2月23日(土)開演 14:00
入場料	1,000円

イソップオペラ 「金の斧 銀の斧」



誰もが知っている有名なイソップ物語がオペラに！歌と音楽と演技が融合した総合芸術「オペラ」を、もっとわかりやすく、もっと楽しく上演いたします。大道具作りのワークショップ付きです

公演日時	3月2日(土)開演 14:00
入場料	入場料(全席自由)：大人2,000円/中学生以下1,500円/親子券3,000円

総合体育館

問い合わせ 総合体育館 ☎ 258-0311 <http://www.miyoshi-culture.jp/arena/index.html>

第2回淑徳大学による柔道教室

柔道とは講道館柔道の創始者、嘉納治五郎師範が世界中に広めたスポーツです。柔術の「柔よく剛を制す」の柔の理から「心身の力を最も有効に使用する」原理へと発展させ、新しい時代にふさわしい技術と理論を組み立てました。



今では195の国と地域が国際柔道連盟に加盟し(平成18年現在)、世界の津々浦々で老若男女が柔道衣を身に付けて心身の鍛錬に励んでいます。

淑徳大学が継承する高度な技術指導はもとより、柔道を通じて礼節、相手を思いやる心、勇気を学ぶ機会となることでしょう。

日時	2月11日(月・祝) 13:00~16:00(受付 12:30)
場所	総合体育館アリーナ
対象	柔道経験のある小、中学生
参加費	1人100円
講師	野瀬英豪(5段) 淑徳大学柔道部監督。 主な選手成績は2000年、2005年 全日本選抜体重別選手権大会準優勝。 小室宏二(5段) 淑徳大学柔道部コーチ。 主な選手成績は2000年ハンガリー国際大会優勝、2010年世界選手権(固の型)優勝。